

くわな市議会だより

平成26年3月定例会号

第9号

発行日 平成26年5月15日



や つほ まめ こう ばい やき 「八壺豆」と「紅梅焼」

八壺豆は、多度大社の参詣者のための土産菓子として江戸時代に考案されました。大豆を核にして、きな粉と砂糖水を混ぜたもので固めて3倍程度の大きさの球状にし、その後、白砂糖で包み込んで作られます。八壺豆の名称は多度山の八壺溪谷に由来し、八壺溪谷にあるみそぎ滝のしぶきをかたどったものとされています。(通称 多度豆として親しまれています。)

紅梅焼は、江戸時代の安政年間に考案された堅焼きの煎餅^{せんべい}で、歯ごたえがあり、山椒の風味を持ちます。小麦粉、砂糖、山椒の実を粉にしたものを混ぜ合わせ、鉄板上で焼いて作られます。

いずれも多度大社の門前町の名物として現在でも親しまれています。

目次

- | | | |
|-------------------|---------------------------------|----------------------------|
| 01 表紙 | 07 建設水道委員会の概要 | 12 一般質問 |
| 02 新年度当初予算が決まりました | 08 新病院の整備等に関する特別委員会の概要/
代表質疑 | 13 一般質問/
総合計画検討協議会の設置 |
| 03 3月定例会の概要 | 09 代表質疑 | 14 市議会からのお知らせ/
議会活動状況報告 |
| 04 総務政策委員会の概要 | 10 議案質疑/一般質問 | |
| 05 福祉安全委員会の概要 | 11 一般質問 | |
| 06 教育経済委員会の概要 | | |

平成26年度当初予算が決まりました



予算規模は過去最大

一般会計	476億5,620万円	前年比 1.4%増
特別会計	287億6,325万円	前年比12.2%増
企業会計	115億4,275万円	前年比19.2%増
総額	879億6,220万円	前年比 6.9%増

※前年比は6月補正後比

主な重点事業

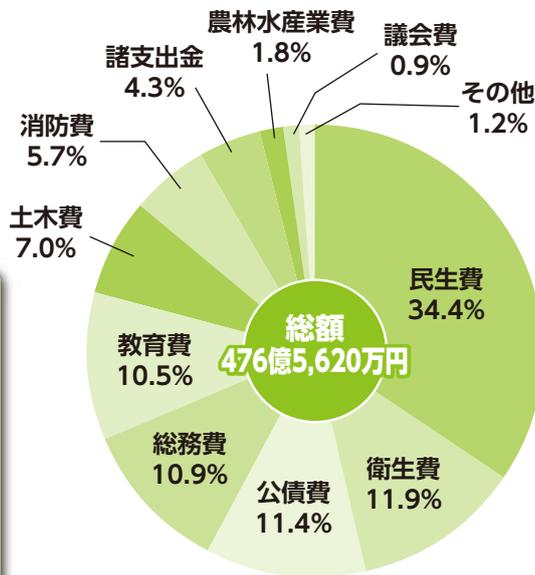
- 新病院整備事業関係費(新病院整備に向けた経費) 26億7,984万円
- 道路ストック対策事業(老朽化している土木施設の総点検や補修を行う) 6,854万円
- ブランド推進事業(桑名市が持つ様々な魅力や価値を全国に発信する) 1,568万円
- 公共施設マネジメント推進事業(公共施設のあり方に関する計画を策定) 1,100万円
- 国際化推進事業(国際交流姉妹都市提携に向けた選定調査を行う) 392万円
- 新桑名市誕生10周年記念式典事業 329万円

財政データ

※百万円未満切捨て

市債残高(全会計)	971億1,100万円
財政調整基金	16億2,400万円
自主財源	270億7,500万円
依存財源	205億8,000万円

一般会計の目的別内訳



用語解説

一般会計

市民からの税金を主財源に福祉、教育、建設など主要な行政運営に使う予算。

特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の目的のみで使う独立した予算。

企業会計

独立採算の水道事業や下水道事業に使う予算。

民生費

福祉や子育て支援、生活保護などに使う。

衛生費

ごみ処理や予防接種など公衆衛生に使う。

公債費

市の借金にあたる市債の返還にあてる。

総務費

企画や広報業務、住民票の発行など市民サービスに使う。

土木費

道路や公園の建設や維持管理に使う。

市債

財源不足を補うため、複数年かけて返済する債務。市の借金。

財政調整基金

急な財源不足の際に取り崩せるよう余裕のある年に積み立てておく市の貯金。

自主財源

税金や施設使用料などの市が自ら獲得する予算。

依存財源

国や県からの配分金や地方債。

3月定例会の概要

2月26日から3月24日までの27日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成26年度桑名市一般会計予算」のほか国民健康保険などの特別会計予算、水道事業などの企業会計予算、「桑名市ブランド推進委員会条例の制定」や「平成25年度一般会計補正予算(第7号)」など市長提出の83議案を審議し、いずれも可決しました。

このほか、請願として「新聞への消費税軽減税率適用を求める請願」は採択し、その他の請願1件については不採択としました。

また、委員会提出議案として「新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書」を可決しました。

さらに、総合計画案の調査研究等を行うため、検討協議会を設置することに決定しました。

ほかに、「桑名市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書の提出」等4件の報告がありました。

平成26年3月定例会主な表決結果

(市長提出議案83件、報告4件、請願2件、委員会提出議案1件、議長発議1件)

区分	番号	件名	賛成	反対	退席
市長提出議案	第4号	平成26年度桑名市一般会計予算	23	5	0
		平成26年度桑名市一般会計予算に対する修正案	12	16	0
	第5号	平成26年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算	25	2	1
	第6号	平成26年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	25	2	1
	第7号	平成26年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算	25	2	1
	第8号	平成26年度桑名市農業集落排水事業特別会計予算	25	2	1
	第9号	平成26年度桑名市介護保険事業特別会計予算	25	2	1
	第10号	平成26年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算	25	2	1
	第11号	平成26年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算	25	2	1
	第12号	平成26年度桑名市水道事業会計予算	25	2	1
	第13号	平成26年度桑名市下水道事業会計予算	25	2	1
	第15号	桑名市民会館条例の一部改正について	25	2	1
	第17号	桑名市ブランド推進委員会条例の制定について	25	2	1
	第28号	桑名市総合福祉会館条例の一部改正について	21	7	0
	第34号	桑名市老人ホーム入所判定委員会条例の制定について	25	2	1
	第35号	桑名市敬老祝金条例の一部改正について	25	2	1
	第37号	桑名市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について	25	2	1
	第58号	桑名市人権教育基本方針策定委員会条例の制定について	25	2	1
	第66号	桑名市総合運動公園ネーミングライツ選定委員会条例の制定について	25	2	1
	第75号	地方独立行政法人桑名市総合医療センター第2期中期目標を達成するための計画を認可することについて	25	2	1
第76号	議決事項の変更について	25	2	1	
第77号	平成25年度桑名市一般会計補正予算(第7号)	25	2	1	
第78号	平成25年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	25	2	1	
請願	第1号	『要支援者への介護予防給付の従来通りの継続』『特別養護老人ホームへの入居を要介護3以上に限定せず従来通りとすること』『利用者負担増の中止』を求める意見書採択を求める請願書	3	24	1

※議長は採決に加わりません。

全ての議案と議員別表決結果は桑名市議会ホームページをご覧ください。

審査案件 委員会開催日 3月11日・13日(審査件数:18件)

- 議案第 4号 平成26年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第15号 桑名市民会館条例の一部改正について
- 議案第16号 桑名市多目的ホール条例の一部改正について
- 議案第17号 桑名市ブランド推進委員会条例の制定について
- 議案第19号 桑名市多度東部多目的集会所条例の一部改正について
- 議案第20号 桑名市多度南部コミュニティプラザ条例の一部改正について
- 議案第21号 桑名市多度北部コミュニティセンター条例の一部改正について
- 議案第22号 桑名市職員定数条例の一部改正について
- 議案第23号 桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第24号 桑名市行政財産目的外使用料条例の一部改正について
ほか7議案
- 請願第 2号 新聞への消費税軽減税率適用を求める請願

主な質疑

平成26年度桑名市一般会計
予算所管部門に対する質疑

◆ 国際化推進事業について
Q 国際交流姉妹都市提携の考
え方は。

A 市のみで姉妹都市提携を行い継続性があるのかという疑問もあり、行政のみならず、民間企業、市民団体も含めて、継続性が保てるようにしたい。また、企業における現状の国際的な取り組みをさらに発展させるような形にもしていきたい。

◆ 補助金・交付金の削減について
Q 交付先団体の中にはさまざまな形で努力し活動されているところもある。それでも一律で削減を行っていることについての見解は。

A 補助金・交付金の削減については、予算査定時等においてもよく実情を把握するように各担当課に伝えていく。また、削減の影響については、あらかじめ各担当課に把握を行うよう伝えるとともに、各団体の活動状況については注視していくよう指示していきたい。

◆ ブランド推進事業について
Q 歴史をはじめ魅力のあるまちとしての価値は十分あると思うが、アピールすべきものがまとまっていない中で東京から発信するのはどうか。きちんと構築してから行うべきではないか。

A 桑名の魅力等について周りの人たちがどう見ているのか、どういう考えを持っているのかをブランド推進委員会等で考えていただきながら、東京から展開することもある。一つの方法であると考えている。

◆ 消防団車庫兼詰所の整備について
Q 昭和48年に建築された桑名方面団第9分団車庫兼詰所の建て替え費用が予算計上されているが、50年代に建築されているものもいくつかある。今後どのような計画で整備していくのか。

A 消防団の車庫兼詰所については、建築経過年数や老朽化の状況等を勘案し、整備を進めていきたい。

消費税率の引き上げによる
使用料改定に伴う条例の一部
改正(6議案)に対する質疑

Q 使用料の改定に至る理由
は。

A 公の施設の使用料について国から技術的な助言があったことや消費税増額による経費の支出増が見込まれることから、使用料の改定を行うものである。

平成25年度桑名市一般会計
補正予算(第7号)所管部門
に対する質疑

Q 繰越明許費の設定理由に見
られる入札不調の分析と今
後の対応は。

A 現時点で15件の入札不調が発生しており、それらは全国的に言われている入札不調の要因と同様な傾向と分析している。今後については、発注の平準化や設計価格の適切な設定に努めるなど、契約担当課と工事担当課の連携を密にして最善の方法を検討していきたい。

審査案件 委員会開催日 3月11日・13日(審査件数:26件)

- 議案第 4号 平成26年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第 5号 平成26年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第 6号 平成26年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 議案第 9号 平成26年度桑名市介護保険事業特別会計予算
- 議案第10号 平成26年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算
- 議案第14号 桑名市役所出張所設置条例の一部改正について
- 議案第18号 桑名市新西方コミュニティセンター条例の一部改正について
- 議案第27号 桑名市走井山会館条例の一部改正について
- 議案第28号 桑名市総合福祉会館条例の一部改正について
- 議案第29号 桑名市長島福祉健康センター条例の一部改正について
- ほか15議案
- 請願第 1号 『『要支援者への介護予防給付の従来通りの継続』『特別養護老人ホームへの入居を要介護3以上に限定せず従来通りとすること』『利用者負担増の中止』を求める意見書』採択を求める請願書

主な質疑

平成26年度桑名市一般会計
予算所管部門に対する質疑

Q ◆ 学童保育所の設置について
在良地区学童保育所の設置
場所について安全確保の点
から市の考えは。

A 一番安全・安心であるのは学
校の敷地内であるが、それ
以外の場合は、利用者の負
担にならない学校の近隣で
探さざるを得ないところが
ある。特に安全確保につい
ては指導員に対し十分配慮す
るよう指導する。

Q 学校の近くに宅老所がある
が学童保育所と一緒に使う
ことはできないのか。

A 法的な把握をしていない
状況であるため今後調
査・研究する。

Q ◆ 補助金・交付金の削減について
補助金削減についての考えと
その対応は。

A 補助金の削減は市の方針
であり、その検討は必要
と考えるが、各所管は行
政運営を行う中で、何ら
かの形で交付先団体に御
協力いただいているという

相互関係により成り立っ
ている。このことを踏ま
え、各所管が各団体と協
議・検討を行った上で財
政当局と調整を行い、今
回の補助金削減率の決定
となった。

Q 補助金削減に伴い、市民生
活や各種団体の活動に影響
はないのか。

A 非常に難しいところであ
るが影響がでないよう努
力していきたい。

一般会計予算所管部門の
補助金・交付金に対し、
「予算執行に当たっては、
各種団体の事業を精査
し、市民生活や各種団体
の事業に影響が無いよう
特段の配慮を求める」との
※附帯決議を行った。

平成26年度桑名市国民健康
保険事業特別会計予算に対
する質疑

Q 平成26年度の新規事業は。

A 特定健診受診率の向上を
図るため、国保連のコー
ルセンターを活用し40代
から50代の未受診者の方
を対象に受診勧奨を行う
事業を予定している。ま
た、保健衛生普及費にお

いては、医療費削減のた
め先発医薬品から後発医
薬品へ変更した場合の差
額について通知すること
としている。

平成26年度桑名市介護保険事
業特別会計予算に対する質疑

Q 平成26年度の新規事業は。

A 定期巡回・随時対応型訪
問介護看護を長島地内で
計画している。また、複合
型サービスタとして、小規
模多機能型居宅介護に訪
問看護も加わった新しい
サービスタを開始する。

※附帯決議とは…
議会(委員会)における審
議(審査)の対象である事件
の議決にあたって、その事件
について付随的に付けられ
る意見または要望の決議の
こと。
可決だけでは議会として
の意見が十分に表明しつく
せない場合があり、当該議
案等を議決するにあたり、
併せて附帯決議を議決し
て、事実上議会の意思を表
明しておく取扱い(地方議
会運営事典より)

審査案件 委員会開催日 3月12日・14日(審査件数:25件)

- 議案第 4号 平成26年度桑名市一般会計予算 所管部門
 - 議案第39号 桑名市斎場条例の一部改正について
 - 議案第40号 桑名市多度自然休養村管理センター条例の一部改正について
 - 議案第41号 桑名市輪中の郷(産業活性化センター)条例の一部改正について
 - 議案第42号 桑名市輪中の郷(ふるさとセンター)条例の一部改正について
 - 議案第43号 桑名市漁業交流センター条例の一部改正について
 - 議案第44号 桑名市大型共同作業場条例の一部改正について
 - 議案第45号 桑名市地域公共交通会議条例の制定について
 - 議案第46号 桑名駅前複合公共施設条例の一部改正について
 - 議案第47号 桑名市長島水辺のやすらぎパーク条例の一部改正について
- ほか15議案

主な質疑

平成26年度桑名市一般会計
予算所管部門に対する質疑

◆消費生活事業費について

Q 現在の相談事業や出前講座のほかに何か考えは。

A 高齢者が関わるケースが増えてきており、啓発に力を入れて取り組みたい。

◆経済環境部の補助金・交付金について

Q 補助金から委託料に組み換えたものに関する削減状況は。

A 平成25年度までは補助金であり削減対象となっていないことから、2割削減の上、委託料として組み直した。

◆青少年育成費について

Q 子ども会の現状は。

A 平成25年度当初の会員数は旧桑名市内で390名、長島地域で297名、多度地域には子ども会がない。

◆学校給食センター費について

Q 調理員が給食を作っている姿を直接見ることも一つの教育である。多度・長島の学校給食を自校方式とする気はないのか。

A 給食センターを維持したい。



学校給食のメニューの一例

桑名市総合運動公園ネーミングライツ選定委員会条例に対する質疑

◆Q スポンサーが変わることに施設名が変わってしまうと、混乱を招くと思われるが。

A 他市の状況を踏まえ、3年または5年以上という形をとりたい。

え、市として統一している。

平成25年度桑名市一般会計補正予算(第7号)所管部門に対する質疑

◆陵成中学校仮設普通教室に係る賃貸借料、公民館の安全管理対策施設整備事業費、陽だまりの丘生涯学習施設整備費等の減額について

Q 初めに大きく予算をつけておいて余ったから減額することに問題はないのか。

A 予算を確保すれば、その分が他の事業に配分できないことにもつながることから、今回の状況を分析して次回に生かしたい。

消費税率の引き上げによる
使用料改定に伴う条例の一部
改正(18議案)に対する質疑

◆Q もともと市の使用料に消費税5%という概念は入って
おらず、そこで増税すること
はおかしいのではないのか。

A 総務省からの通知を踏ま

審査案件 委員会開催日 3月12日・14日(審査件数:18件)

- 議案第 4号 平成26年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第 7号 平成26年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算
- 議案第 8号 平成26年度桑名市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第12号 平成26年度桑名市水道事業会計予算
- 議案第13号 平成26年度桑名市下水道事業会計予算
- 議案第25号 桑名市駐車場整備基金条例の廃止について
- 議案第26号 桑名市農業集落排水整備支援事業基金条例の制定について
- 議案第48号 桑名市道路占用料徴収条例の一部改正について
- 議案第49号 桑名市法定外公共物管理条例の一部改正について
- 議案第50号 桑名市都市公園条例の一部改正について

ほか8議案

主な質疑

平成26年度桑名市一般会計
予算所管部門に対する質疑

◆ 住宅リフォーム促進事業について

Q 平成24年度から3年間の事業であるが、これまでの取り組み及び効果は。

A この事業は市民が市内の施工業者を利用して住宅リフォームをされる際に上限10万円を補助するものである。平成24年度の補助額は2,400万円余、工事費総額は4億円余であり、平成25年度の補助額は1,900万円余、工事費総額は3億4,400万円余の見込みとなっており、地域経済の活性化につながっていると考えている。

Q 平成26年度で終了予定となっているが、今後継続して実施していく考えはあるか。

A 他市の事例を調査研究し、検討していきたい。

◆ 土地区画整備事業費について
Q 駅西土地区画整理事業にかかる推進化方策コーディネート業務の委託費用が計

A 上されているが、その詳細は。

A 今後の建物移転計画や仮住まい対策等を効率的に推進していくために、土地区画整理の専門的見地を活用した業務委託を行いたいと考えている。



桑名駅西広場予定地

平成26年度桑名市水道事業会計予算に対する質疑

Q 昨年7月に料金改定が行われたが、5,800万円余の赤字予算となっている理由は。

A 料金改定後、市民の節水意識が加速していること等により、当初見込んでいた増収額を実現していないが、月別データによれば、用途を実現している月もある。今後も水需要を注視し、赤字となるよう努めていきたい。

Q 赤字状態を脱却するため、どのような経営努力をしているのか。

A 額田水源地の開発には一定の投資を行ったが、平成26年度の稼働に伴い、三重県から購入している水の量を減らすことができ、結果的には支出の抑制につながるものと考えている。

◆ 桑名市営駐車場条例の一部改正に対する質疑

Q 今回廃止する長島駅前駐車場の跡地について、今後の計画はどのようになっているのか。

A 市有財産の活用を検討する委員会において、売却、貸付等の協議をしていく予定である。

審査案件 委員会開催日 3月17日(審査件数:6件)

- 議案第 4号 平成26年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第11号 平成26年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算
- 議案第71号 桑名市が設立する地方独立行政法人に係る重要な財産を定める条例の一部改正について
- 議案第75号 地方独立行政法人桑名市総合医療センター第2期中期目標を達成するための計画を認可することについて
- 議案第77号 平成25年度桑名市一般会計補正予算(第7号)
- 議案第84号 平成25年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第4号)

主な質疑

平成26年度桑名市一般会計予算所管部門に対する質疑

◆ 寄附講座支援事業について

Q 平成26年度で寄附講座が終了するが、今後の産婦人科の体制は。

A 平成26年4月から周産期医療の医師が1名配置される。また、このことにより今回の寄附講座に対する目的の一つは達成されたと考えている。

地方独立行政法人桑名市総合医療センター第2期中期目標を達成するための計画を認可することについて

◆ 第1期中期計画との変更点は。

A 地域包括ケアシステムの関係により地域の二次医療の中核病院となることから地域医療連携の推進として紹介率、逆紹介率、地域連携バスの利用数、地域連携室の機能の充実、地域包括支援センターや地域の介護福祉施設への患者情報提供及び退院時事例検討の取り組み等について変更を行った。

◆ 第1期中期計画では、救急医療及び小児医療・周産期医療を始めとした安全で良質な医療の提供に一定の成果を得ることができたところがあるが特に小児医療及び周産期医療についてどのように評価したのか。

A 小児救急医療については、東医療センターに医師の集約を行い、入院の受入等を再開している。また周産期医療では寄附講座を開設したことにより医師が派遣されたことから一定の成果があったと考えている。

代表質疑

フォーラム新桑名 伊藤 真人

◆ 市長提案説明から責任ある財政について

質疑 一般財源の確保について問う。

答弁 企業誘致やネーミングライツなど、市税収入の増収につながる施策を展開する。ブランド推進事業もいずれも財源確保に大きく貢献することにつながっていくと考えている。

質疑 補助金の20%縮減について問う。

答弁 前年度8割の額を確保し、交付先団体が実施する事業の状況を考慮して予算計上した。

再質疑 補助金削減の影響で中体連の参加費等が上がった。保護者負担の増は市長のいう「こどもを3人育てられるまち」に逆行しているのではないかと。

再答弁 ヒアリングを行い、配慮すべきところには配慮した。財政硬直化の問題にしっかりと対応していかなければならないと考えている。

桑風クラブ・無会派 市野 善隆

◆ 伊勢大橋架け替えについて

質疑 平成26年度の事業計画を問う。

答弁 用地買収・調査設計・橋梁下部工等が計画されている。

◆ 防災「国・県施工事業」について

質疑 「長島・城南海岸」「木曾三川堤防」の整備計画を問う。

答弁 国管理の「木曾三川堤防」は、国道23号線下流で今年度6箇所、堤防補強が施工され、今後も事業推進がされる計画となっている。

県管理の「長島海岸」は平成20年度に着手され、外側1.4kmは平成26年度中に完成し、引き続き内側が着手されていく。「城南海岸」は、平成24年度に調査設計され、平成26年度から新規事業として着手される計画である。

代表質疑

新自由クラブ

渡邊 清司

◆市長の政治姿勢について

質疑 新桑名市誕生10周年となる平成26年度市政運営の基本的な考え方を市長に問う。

答弁 10周年記念式典については市民の皆様と共に何らかのかたちで祝賀をしたい。市政運営の考え方は、旧来からの運営手法を根本から見直し、財政状況を身の丈にあった健全なものにする。財政健全化に向け削減可能な歳出を抑え、新たな財源確保も含め見込める歳入は確実に収納する。職員が意識を持って取り組んでいくことが大切である。

質疑 実現したい重点施策は。

答弁 ①新病院を開院する。②「ブランド元年」と位置づけ、桑名ブランドの推進に取り組む。③公共施設のマネジメントを、次の時代の桑名市を見据えて大局的見地から取り組む。

希望

伊藤 研司

◆【住み慣れた地域で、自分らしく暮らし、人生の最期を迎えることが出来るために】

＜地域包括ケアシステムの課題＞

質疑 「地域包括ケアシステム」を成功させるためには、
①医療と介護の連携。②地域で24時間活動する「定期巡回随時対応型訪問介護・看護」体制を創設し「通所・訪問介護、宿泊」がセットになった小規模多機能型居宅介護を連携させた「複合型サービス」の実施が必要である。中学校区に一箇所の「小規模多機能型」の介護施設の創設から始めるべき、と考えるが。

答弁 在宅介護と連携した在宅医療の充実、施設と同様な機能を地域で展開する新しいサービスの実施
①定期巡回・随時対応型訪問介護看護②小規模多機能型居宅介護③複合型サービスの普及を促進する。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆桑名市総合防災訓練について

質疑 防災訓練の概要と一人でも多くの市民に参加をして頂くための周知の方法について

答弁 対象は、市内全域の住民、観光客、来訪者等全員。緊急速報メールを活用し、市内小学校28校を避難所に職員を配置し受け入れをする。大型商業施設等では、お客様に体勢を低くして自分自身を守る行動をとる等、企業それぞれの訓練を取って頂く。避難所では、備蓄食料の試食も行う。周知については、自治会を通じ、開催チラシの回覧や、駅・施設などにポスターを掲示し、大々的なPRに取り組む。

再質疑 市内全域での取り組みで防災に対する意識が変わり、全戸対象にアンケート調査の実施について

再答弁 地域の課題の掌握のため、自治会を通じアンケート調査を実施したい。

日本共産党桑名市議員団 石田 正子

◆消費税増税による市民への影響について

質疑 増税による市民生活への影響をどのように把握しているのか。

答弁 少子高齢化の急激な進展や年々増加する社会保障費に対応する手立てとして国において様々な議論があった末、決定されたことと受けとめている。

消費税率の引き上げで市民の負担が増加し、家計を圧迫しかねないものと推察する。市内中小業者にとっても消費税の価格への転嫁に際し、買ったたきをはじめとする転嫁拒否や4月以降に予想される駆け込み需要の反動などが懸念される。低所得者への影響緩和、駆け込み需要と反動減の緩和策として、一般の住宅取得に係る給付措置(すまいる給付金)簡素な給付措置(臨時福祉給付金)、子育て世帯に対する臨時特例給付措置があり、その準備をする。

議案質疑・一般質問

桑風クラブ・無会派 伊藤 文一

◆県道四日市多度線安全対策について

質問 地元関係者からの歩道橋等の要望を問う。

答弁 県から歩道橋の補助採択基準に合わないとは回答を得ている。このため改善策として、歩行者の滞留スポットの確保、舗装着色による安全対策を県へ要望していく。また、既存の施設を利活用した検討もしてきた。

◆平成26年度当初予算編成方針について

質問 団体等への「補助金2割カット」について団体等への聞き取りはされたのか？問う。

答弁 所管課へは各団体への周知を図るようにお願いし、500万円以上の補助金が交付されている団体については、予算ヒアリング時に同席を求める等して対応した。

新自由クラブ 倉田 明子

◆有害鳥獣対策事業について

質疑 多度地区を中心にシカ、イノシシ、サルの被害が深刻化、広域化し、営農意欲の減退、耕作放棄地増が懸念される。事業の検証と、今後の方向性を問う。

答弁 地域と協働で防止柵を設置、猟友会による捕獲、駆除でシカ、イノシシの被害は減少しているが、サルは集落にも出没している。ワナの増加と電気柵の設置、高齢化が進む捕獲従事者の育成支援に努める。

◆小学校英語活動事業について

質疑 26年度は予算が増額されている。これまでの英語活動による成果と、26年度の取り組みを問う。

答弁 支援員、ALTの配置で「生きた英語」に触れ、自分の気持ちを英語で表現しようとする姿が見られるようになった。26年度では、新たに会話、発表を英語で行う「英語キャンプ」を計画している。

フォーラム新桑名 愛敬 重之

◆活力ある産業の振興について

質問 本市における三重テラスの活用方法について

答弁 平成26年度秋頃に、名所や特産品の展示やパネルによるPRを行いたいと考えており、県と日程調整を行っている。内容は、一例とし、桑名の地場産業である鋳物釜を使って炊いたご飯を、時雨茶づけで試食していたり、市の文化を代表する千羽鶴の体験が出来ないか、今後関係団体と協議する。



◆豊かな人間性を育む人づくりについて

質問 平成25年度全国体力・運動能力調査結果の県内公立小・中学校の公表について

答弁 本市の状況だが、実技調査の体力合計点では、小学校においては県とほぼ同等、中学校においては県を上回る結果。

新桑会・無会派 鷲野 勝彦

◆公共工事にかかわる業界団体の実態について

質問 工事関連業界の実態把握について、全国的にいろいろな要因により入札不調が発生しているが、桑名市ではどうか。

答弁 桑名市での入札不調の状況は、2月末までに開札した工事186件のうち、開札時点で応札者がいない不調が15件、応札者はあったものの最低制限価格を下回ったことなどにより失格した不落が9件となっている。

入札不調の要因としては他の工事の増加により受注機会が増加し原材料及び重機の手配が困難になっていること、配置する技術者不足に加え、建築資材や人件費の高騰などが考えられる。

今後の対応は、予定価格の適正な積算や工事の早期発注、発注時期の平準化に努める。

一般質問

市民クラブ

松浦 祥子

◆子育て支援について

質問 一時保育ではどのような保育がおこなわれているか。

答弁 未就園児を対象とし、非定型的保育、緊急的保育、リフレッシュ支援保育を提供している。例えば、サンファールの「さんさんルーム」では木曜日の休館日以外の朝7時30分から夜7時まで開所している。

◆文化のブランド化について

質問 六華苑の位置づけをどのように考えているのか。

答弁 ジョサイア・コンドルの設計による貴重な文化遺産である。国土交通省により付近に公園が建設中で、重要な「桑名ブランド」の一つとして文化の発信施設としていきたい。

希望

倉本 崇弘

◆子どもの視点からの公園整備を!

質問 今ある公園などを子ども視点で整備をすることによって総合的な子育て支援の一つになると思うが当局の考えは?

答弁 関係部署と連携をして進めていきたい。



◆進みつつある空き家対策!

質問 先の議会での私の質問で庁内での検討をすることだが進捗状況は?

答弁 本年1月に庁内調整会議を持ち、現状把握と情報共有をおこなった。

公明党桑名市議員団

畑 紀子

◆少子化対策について

質問 国の改正と共に県は全国初の取り組みである男性不妊治療助成事業を開始するが、本市としてどのように考えているのか。

答弁 男性不妊治療助成事業については、助成内容の見直しが必要と思うが、予算措置の必要性から財政部門とも協議し、他市の状況も注視して検討する。

質問 現在計画申すまたは、今後市として構想している少子化対策事業が具体的にあるのか。

答弁 現在、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目無い支援を行い、地域における少子化対策の強化を図ることを目的とした「地域少子化対策強化交付金」の活用に関して、県と協議中である。市長のビジョンである「こどもを3人育てられるまち」の実現にむけて、今後具体的に検討していく。

日本共産党桑名市議員団

星野 公平

◆桑名の福祉・教育・環境について

質問 地域での医療や介護と看取りについて

答弁 在宅での看取りを含めた、在宅医療及び介護の充実が不可欠であり、医療・介護・予防・生活支援が地域で一体的に提供されることが必要。在宅復帰を支援する退院調整機能を充実させ切れ目ないサービスを提供する。地域における支え合い・助け合いの体制づくりに努めていく。

質問 二学期制見直しの検討結果は

答弁 来年度、学校や保護者等を交えた検討を進め、子どもの実態に合わせ、対応していく。

質問 騒音規制は市の条例にできないか

答弁 騒音規制法および県条例を尊重し、今後も一層の騒音監視に努めたい。

一般質問

新桑会・無会派 平野 和一

◆市政全般について

質問 今後の地域審議会の方向性について

答弁 設置期間は合併後10年とし、平成27年3月31日までとなっており、設置期間の延長はしないという方針である。合併から10年が過ぎ、そろそろ旧の市町単位ではなく、市全域で市政を考えなければならない時期にきていると思っている。

質問 合併特例債の用途について

答弁 合併特例債は、主に小・中学校や幼稚園の耐震補強事業や、防災コミュニティセンターの建設、市民会館のリニューアルなどの事業に活用されている。合併特例債は財源的に有利な地方債であるので、事業の投資効果と必要性を十分検討し、適切に活用していきたい。

桑風クラブ・無会派 岡村 信子

◆学校教育等について

質問 教育長就任後「8ヶ月間」の所見を求める。

答弁 8ヶ月経過し、周囲の支えもあり職責を果たしてきた。学校教育の分野では「くわなっ子育て方針」「確かな学力の定着と向上」「自ら学ぶ力」「共に生きる力」等を大切に取り組んでいきたい。

◆地域医療・福祉分野について

質問 保健福祉部長に2部門の総括を求める。

答弁 地域医療の分野では、平成22年9月に市議会より病院統合に関する決議をいただき事業推進の大きな後押しとなった。今後、新病院整備に伴う地域医療の充実が期待される。福祉分野では、保健福祉部は市一般会計予算の40%弱を占め、社会保障に対する財源確保のため、今後、国の動向を注視していく必要がある。

希望 伊藤 恵一

◆砂漠の上に建設!?新病院

質問 大赤字を8年で立て直された現場の皆様への敬意は。

答弁 医療機能が滞りなく維持され、敬意を表している。

再質問 経営再建功労者の前理事長に昨年新聞発表前日、任

期を4ヶ月残し突然クビを宣告。これが敬意!?恩を仇でいい先生は来ず、転院も。又元の木阿弥では。

再答弁 働かれている方々に対しては敬意を表している。

再質問 仏作って魂入れず。建物以上に働く方々が大事で、一つ一つ成すべき事をキチンとこなした上でないと岩盤なき砂漠に建てるが如くで経営のパンクが心配。

再答弁 法のワクに則って、医療センターと連携しながら、市としてマネジメント機能を果たしていきたい。



フォーラム新桑名 安藤 寛雅

◆確かな学力の育成について

質問 学力の評価について

答弁 少人数指導の成果として児童の積極性や、基礎学力の向上が見られた。

くわなっ子育て方針を踏まえ、全国学力・学習状況調査の結果を生かした成果指標や目標値を設定し、自ら学ぶ意欲や学習内容の定着を分かりやすくする。

質問 学級満足度調査の結果と分析・対応について

答弁 小学校では学級としての課題の解決は進んでいる。中学校では、個人が変化しても学級には変化が見られない。細やかに個人と集団に対する指導・支援を進める必要がある。学級満足度調査は子どもの学校生活における状況を客観的につかむものと同時に教師の指導の偏りや成果、教師、学校の「強み」「弱み」を明らかにすることが出来た。

一般質問

フォーラム新桑名 松田 正美

◆これからの救急体制について

質問 救急ワークステーションの設置に向けて

桑名市の救急救命率を今よりも一層向上させるために、桑名市の(東)医療センター内に救急ワークステーション(必要に応じ医師が救急車に同乗し、救急現場へ向かうシステム)を設置して救急のための消防職員が常駐することにより、心筋梗塞などといった、より迅速性が求められる事態に備える体制を整えることを提案する。

答弁 消防本部としては、医療機関において医師が救急現場に赴いていただける体制を整えていただけるのであれば、現に救急ワークステーションを運用している他の消防本部の事例を参考に検討してまいります。



市民クラブ 小川 満美

◆地域包括支援センターについて

質問 現在、大山田を含む北部地域包括支援センターの多度管轄地区の65歳以上の人口は、6,698人、60歳以上は、9,486人である。5年以内に大山田地区だけで65歳以上の人口が5,000人を超えてくる。

今後、急速に高齢化する大山田地区に地域包括支援センターを新たに作るのか。

答弁 地域包括支援センターの在り方や再編、既存の地域包括支援センターの人員増も含めて、次期の第6期介護保険事業計画の策定の中で検討する。市の人口規模、業務量、専門職の人材確保の状況等を踏まえ、地域包括ケアの拠点としての充実を図り、最も効果的・効率的に業務が行えるような地域の連携づくりの推進に努める。

「総合計画検討協議会」を設置しました

市では現在、新しい総合計画の策定作業を進めています。

総合計画は市における最高位の計画であり、その計画を策定するには議会の議決が必要です。

市議会では、計画案が固まる前に、議会側の意見や提案を当局に対して行うため、3月24日、「総合計画検討協議会」を設置しました。メンバーは次のとおりです。

- 松浦 祥子 ●市野 善隆 ●伊藤 真人
- 伊藤 恵一 ●渡邊 清司 ●杉浦 繁生
- 星野 公平 ●鷲野 勝彦 ●竹石 正徳

希望 清水 教代

◆桑名市の財政政策について

◆桑名市独自の新たな財源確保について

質問 補助金の使途と効果について、また多種の補助団体が事業仕分けのうえで、財源が生まれるような団体への補助金は大切だと思うが、如何か？

答弁 補助金の中には企業等誘致奨励金のように、将来、市の税収に大きく貢献するとともに、地域経済の活性化に寄与するなど、将来を見据えたときに市の財政にとって有効な補助金もある。

今後も補助金交付にあたっては公共性や公益性の観点に立って判断するほか市の財源確保の視点でも有効かどうか判断していく。

◆防災について南海トラフ地震を想定して

質問 長島地域の防災センターの建設予定は。

答弁 伊曾島地区の自治会連合会と検討している。

桑名市議会からのお知らせ

6月定例会 開催日程(予定)

6月定例会が、6月11日(水)～7月1日(火)の21日間の予定で開催されます。

- 6月11日(水)
本会議(議案上程・提案説明)
- 6月17日(火)～20日(金)
本会議(議案質疑・一般質問)
- 6月23日(月)～25日(水)
常任委員会・特別委員会
- 7月1日(火)
本会議
(委員長報告・質疑・討論・採決)

ケーブルテレビ放映を廃止し インターネットによる生放映を開始します

6月定例会から本会議のケーブルテレビ放映に変わり、インターネットによる生放映を開始します。これまでケーブルテレビでは放映されていなかった本会議初日の市長提案説明や最終日の採決の様子も放映します。また、録画放映もこれまでどおり行いますので、ぜひご覧ください。さらに、12月定例会からは、新たに各常任委員会や特別委員会についてもインターネットによる生放映、録画放映を行う予定です。

[桑名市議会ホームページ](#)▶インターネット本会議生放映/録画放映からご覧ください。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。日程はこの市議会だよりや市議会のホームページに掲載しています。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。



議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

2月

- 4日 2月臨時会
- 7日 教育経済委員会
- 10日 全国高速自動車道市議会協議会理事会・定期総会
- 13日 地域医療再生臨時特別交付金の新たな財政支援措置を求める国への要望活動
- 14日 総務政策委員会・協議会、福祉安全委員会、建設水道委員会
- 17日 桑名広域清掃事業組合議会定例会
- 18日 全員協議会、議会報告会班別会議・班長会議
- 19日 各派代表者会議、議会運営委員会
- 21日 地域医療再生臨時特別交付金の新たな財政支援措置を求める国への要望活動、全国市議会議長会第137回地方行政委員会

- 24日 広報広聴委員会、桑名弁広域連合組合議会
- 26日 3月定例会(閉会3月24日)、三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会

3月

- 3日 新病院建設整備事業等への新たな財政支援を求める県への要望活動
- 17日 各派代表者会議
- 18日 議会改革検討会
- 26日 議会報告会班長会議

4月

- 9日 総務政策委員会・協議会、教育経済委員会、建設水道委員会
- 11日 広報広聴委員会

- 15日 福祉安全委員会・協議会、北勢5市市長正副議長懇談会
- 16日 議会報告会班長会議、班別会議、各派代表者会議、議会運営委員会
- 17日 第97回東海市議会議長会定期総会
- 18日 議会改革検討会
- 23日 広報広聴委員会、議会運営委員会
- 25日 建設水道委員会
- 26日 議会報告会
- 28日 総合計画検討協議会
- 30日 総務政策委員会



副委員長
委員 長
委員 長
委員 長
委員 長

岡星 杉倉 倉愛 辻松 畑南
村野 浦本 田敬 内浦 澤
信公 繁崇 明重 裕祥 紀幸
子平 生弘 子之 也子 子美

議会だよりではこれまで桑名の有名な食べ物を紹介してきましたが、桑名に住んでいても食べたことのないおいしいものがまだまだあるなど実感しています。その一つが今回紹介した紅梅焼です。屋下がり、緑茶のお供によく合いますよ。

編集後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

お問い合わせ

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話:0594-24-1304/0594-24-1305
FAX:0594-24-1359
メールアドレス:gikaijm@city.kuwana.lg.jp